

北海道遺産

アイヌ語地名

(北海道各地)



難しくも美しい北海道地名のヒミツ

北海道の地名の多くはアイヌ語に由来するとされている。アイヌ語地名の多くは、知らない場所でも、その名から地形や位置づけが分かるものとなっている。現在は片仮名や漢字で表記され原音と異なる場合もあるが、本来はアイヌ民族の自然と調和した伝統的生活の中から歴史的に形成された。アイヌ文化の自然観などを理解する重要な手がかりとなっている。

(北海道遺産公式サイト <https://www.hokkaidoisan.org/> より引用)

【写真】赤岩青滝峡の紅葉 (占冠村)

## INDEX

3~5 HOEP2023が盛況に開催される

6・7 HOPE2023セミナーが8セッション開催される

8 新たな化学物質規制に関する説明会のご案内

9 全印工連ライセンスプログラム「Adobe Creative Cloud」のご案内

10 令和5年度DTP技能検定のご案内

10 北海道最低賃金改正のお知らせ

## 北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル

TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] [info@print.or.jp](mailto:info@print.or.jp)



P-00023

この印刷物は、CSRに取り組み印刷会社が製作した印刷物です。

# HOPE2023が3年振りに通常開催 「未来創造～攻めのDXで“印刷創注”～」 をテーマに躍進

北海道印刷工業組合と関連4団体で構成するHOPE実行委員会が主催するHOPE (HOKKAIDO PRINT EXPO) 2023が、「未来創造～攻めのDXで“印刷創注”～」をテーマに、9月6日・7日の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで通常開催され、展示会に2,416人、セミナーに201人、合計2,617人の来場者があり、情報交流と学びの場として大いに賑わった。

HOPE2023は、情報発信の場としての展示会と学びの場としてのセミナーの2本立てで構築され、展示会は47社84小間が出展し、セミナーは実行委員会主催の基調講演、テクニカルセミナーの2セッション、6社6セッションの出展社企画セミナーの合計8セッションが行われた。

会期初日の9月6日午前9時30分から、来賓、実行委員会、出展社等、関係者約250人が参加して開会式が開催された。



岸 昌洋 氏

最初に主催者を代表して、岸昌洋実行委員会会長（北海道印刷工業組合理事長）が、「本日は来賓として多数の皆さんに多忙のなか臨席をいただきお礼申し上げます。挨拶に先がけ、出展・出講いただいたメーカー、ベンダー、そして搬入搬出、各種施工工事に携わっていただいた関係者の皆さんに実行委員会を代表して厚くお礼申し上げます。昨年はコロナ渦中においての開催となったが、今年はまだ感染拡大が予断を許さない状況ではあるが、開会式をはじめ、HOPE展自体を人数制限のない設えで執り行う。HOPE (HOKKAIDO PRINT EXPO) は、北海道のこの地で、昨今の印刷産業の置かれている現状と、未来に向けた情報を共有するヒントが詰まって

いる。この産業展は1993年から歴史をつむぎ今年で30年目となる。今の時代にマッチしたイベントである。新しいかたちの産業として発展を続ける印刷産業を来場いただいた方々自身の目で確認していただけることを切に願う」と開会あいさつを述べた。

つづいて、来賓紹介が行われ、代表して4人から祝辞が述べられた。



菅原知彦 氏

菅原知彦経済産業省北海道経済産業局地域経済部長は、「HOPE2023が盛大に開催されることをお慶び申し上げます。開催に当たり、準備を進めてこられた岸実行委員会会長をはじめ、関係各位の努力に敬意を表する。コロナがまた少し

し出ては来ているようであるが、おおよそ脱却してきて社会経済活動も正常化しつつある。アルプス処理水の関係で中国へのホタテの輸出制限、ガソリンなどのエネルギー価格の上昇によって、先行き厳しい状況にあると認識をしている。特に印刷業界においてはペーパーレス化による需要の減少や経営環境の厳しいことを私どももよく認識をしている。そのなかで、このイベントが『未来創造～攻めのDXで“印刷創注”～』をテーマに開催されるということで、私どもが非常に力を入れているデジタル化、DXについての機

器やサービスが今回展示されるので、このイベントを通じて新しい出会いや繋がりによって、新しいサービス、ビジネスの成長発展につながることを期待している。経産省としても中小企業の経営支援、資金繰り支援に十分注力しているが、最近は特にDXである。人材育成、中小企業に役立つアドバイザー支援等いろいろな手を打っているのもそういった施策を活用いただきたい。皆さんの価値の創造に役立てていただけると我々としても非常に嬉しい」と述べた。



安彦史朗氏

安彦史朗北海道経済部産業振興局産業振興課長は、「HOPE2023が盛大に開催されることを心からお祝い申し上げますとともに開催に当たり尽力された岸会長をはじめ関係の皆さんに深く敬意を表する。参集の皆さんには、日頃より北海道経済の活性化に多大なる力添えをいただき厚くお礼申し上げます。今日、デジタル化や脱炭素化といった動きが本格化している。エネルギー、原材料価格の高騰など、印刷産業をはじめ企業を取り巻く環境が大きく変化している。印刷産業においても、多様な変化に対応しつつ、これまでのノウハウを活かしながら、新しい価値を創造していくチャレンジが求められている。こうしたなか、HOPE2023が『未来創造～攻めのDXで“印刷創注”～』をテーマに開催され、最新鋭の印刷資材や情報機器などが集結し、付加価値や生産性能向上などにつながる先端の技術や革新的なサービスなどを発信されることは、本道印刷産業のさらなる発展に多いに繋がるものと期待をしている。道としても、地域の経済雇用を支え、本道経済の発展と活力の原動力である企業の経営体質の強化や新事業展開を始め、販路開拓や人材育成、デジタル化、脱炭素化に向けた取り組みなどを積極的に支援していく。引き続き、理解と協力いただくことをお願い申し上げます。HOPE2023が新たな価値の創出に繋がる実り多き

出合いの機会になることを祈念する」と述べた。



小室 匡氏

小室匡札幌市経済観光局産業振興部地域産業課長は、「HOKKAIDO PRINT EXPOが盛大に開催されたことを心からお慶び申し上げます。尽力された事務局の方々、参加されている企業の皆さん、大変な苦勞があったことと思う。心より敬意を表する。昨今の市内の企業の環境は、エネルギーを始めとした物価の高騰、生産年齢人口の減少に伴う人材確保の難しさがあり、非常に厳しいものがある。そういったなかで、DX化も待ったなしで、我々の役所もそうであるが、働きかけをしなければならない。DX化というものもイーコマース、クラウドであったり、今まで既存の媒体と新たな物との融合であったりなど、いろいろなサービス、需要、ニーズができてきている。こういったものに対する対応が我々に迫られている。足元を見ると、自社の業務管理系であったり、制作管理であったり、こういったところにもDX化が求められている。DXはなかなか一朝一夕で進められるものではないというのは重々承知しているが、こういったものに対応していくことがこの業界の、言ってみれば可能性を高めることであったり、将来に対する広がりを求める、こういった動きに繋がることでもあるので、是非とも今日という場が私も含めて、皆さんにとって、良い出会いや気づきであったり、学びの場であること祈念する」と述べた。



鳥原久資氏

鳥原久資全日本印刷工業組合連合会副会長は、「HOPE2023の開催にあたり、岸会長をはじめ関係者の方、出展社の方、いろいろ尽力をいただきお礼を申し上げます。HOPE2023のHOPEというのは、HOKKAIDO PRINT EXPOの略だということを知っている。EXPOというのは博覧会で

ある。HOPEに名前を変えたのは、ソフトとハードを融合していろいろな情報をやり取りするなかの新しいかたちの博覧会としてスタートしたと聞いている。アフターコロナとして久しぶりに元に戻り、大掛かりなかたちで今回開催された。ネットが発達した今、いろいろな情報は気軽に手に入れることができる。一方で、そこから発する匂いであるとか、人との会話であるとか、会話同士から生まれるいろいろな知恵とか、そういうものは、やはりリアルな場所でないとも生まれにくい。今回のHOPE2023というのはそういう点では非常に大きな場ではないかなと思う。全印工連では今、HAPPY INDUSTRYという大きなタイトルを掲げ、未来を創造できるような、例えばDXであるとか、サステナブルな経営であるとか、いろいろなメニューを用意し、

また使っていただくために汗をかいている。このところ、たび重なる災害が起きているので、BCPの話についても今、全印工連では企画をしているので、この後、私の方から、その話も少し触れさせていただく。折角の展示会であるので、多くの方に集っていただき、そしてそこからいろいろ融合して、新たな知恵を作る場にしていただきたい。今回のタイトルは未来創造である。明るい未来を作るためには、その場に人が集って、そして多くの会話

をすることがマストである。未来創造の場になることを祈念し、HOPE2023が大きなその場になることを願う」と述べた。

つづいて、来賓の菅原知彦経済産業省北海道経済産業局地域経済部長、安彦史朗北海道経済部産業振興局産業振興課長、小室匡札幌市経済観光局産業振興部地域産業課長、鳥原久資全日本印刷工業組合連合会副会長、原田大輔一般社団法人日本グラフィックサービス工業会副会長、松浦豊北海道中小企業団体中央会専務理事、岸昌洋HOPE実行委員会会長によりテープカットが行われ、HOPE2023が開幕した。



左より岸氏、原田氏、鳥原氏、菅原氏、安彦氏、小室氏、松浦氏

# HOPE2023セミナー開催される

HOPE2023セミナーが、9月6日、7日の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで実行委員会主催の基調講演とテクニカルセミナー2セッションと、6社6セッションの出展社企画セミナーの合計8セッションが開催された。

セミナーを写真グラフで紹介する。

9月6日

## 基調講演

- 提 供 : HOPE実行委員会  
テーマ : ビジネスを守り、競争力を高める!  
BCPが導く!未来を創る戦略  
講 師 : 全日本印刷工業組合連合会  
副会長 鳥原久資 氏  
(株式会社マルワ代表取締役・愛知県名古屋市)



## セミナー①

- 提 供 : 富士フィルムグラフィックソリューションズ株式会社  
テーマ : 富士フィルムが提唱する印刷DX構想  
～自社の現在地を知る。  
そして市場拡大への具体的なアイデアをその手に～  
講 師 : 富士フィルムグラフィックソリューションズ株式会社  
デジタルソリューション営業部  
佐藤伸之 氏



## セミナー②

- 提 供 : ハイデル・フォーラム21北海道地区会  
テーマ : 製造現場のポテンシャル見えていますか?  
～ポテンシャル分析から見えてくる製造現場の利益～  
講 師 : ハイデルベルグ・ジャパン株式会社  
ライフサイクルオペレーションズ本部  
波多野秀樹 氏



## セミナー③

- 提 供 : コニカミノルタジャパン株式会社  
テーマ : 印刷とデジタルの共創  
～コニカミノルタがご提案する印刷ビジネスDXの取組～  
講 師 : コニカミノルタジャパン株式会社  
ビジネスDX商品統括部  
統括部長 内田 剛 氏



## 9月7日(木)

## テクニカルセミナー

- 提 供 : HOPE実行委員会  
 テーマ : 「動画化」から「AI活用」まで、  
 デザインの価値を上げる最新ノウハウ集  
 講 師 : スタジオねこやなぎ  
 代表 大須賀 淳 氏



## セミナー④

- 提 供 : 富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社  
 テーマ : 環境配慮と印刷ビジネスの融合による付加価値の創出  
 講 師 : 富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社  
 グラフィックコミュニケーション営業統括部  
 販売推進部経営支援グループ  
 池田 久 氏・江波戸良光 氏



## セミナー⑤

- 提 供 : リコージャパン株式会社  
 テーマ : 印刷革新会パネルディスカッション  
 『実務者が語る自動化構想での課題と解決方法』  
 パネリスト : 株式会社クイックス  
 P&D戦略部 副部長 長谷川克好 氏  
 佐川印刷株式会社  
 営業支援・ネット営業推進部 部長 一色映志 氏  
 株式会社正文舎  
 製版課課長/デザイナー 浦田久永 氏  
 コーディネーター : 株式会社バリューマシーンインターナショナル  
 取締役副社長 宮本泰夫 氏



## セミナー⑥

- 提 供 : ミマキエンジニアリング株式会社  
 テーマ : グッズビジネスの今と未来/  
 機械を使った受注生産ECビジネス  
 講 師 : シンクイノベーション株式会社  
 代表取締役 三輪直之 氏  
 取締役 平光遼平 氏



# 新たな化学物質規制に関する説明会のご案内

令和4年5月に公布された労働安全衛生法関係政省令の改正により、**化学物質の取扱い等**に関し「**自律的な管理**」が求められています。このため、事業場においてどのように化学物質を管理していくのかを化学物質管理分野の第一人者である城内博氏により、また、令和6年4月から保護具をリスクアセスメントの結果に基づく措置として使用させる場合には「**保護具着用管理責任者**」の選任が必要となるため、同責任者の職務や管理のポイントを保護具の専門家である小野真理子氏により、それぞれ講演いただきます。

**今回の改正では、すべての業種の事業場において、規制対象となる化学物質が一定割合以上含有されている製品を取り扱う（使用する）場合には対応が必要となりますので、是非この機会をご活用ください。**

**開催日時** 令和5年 **11月2日**（木）13:30～16:30

**会場参加** ニューオオタニイン札幌「鶴の間」 **定員300名**  
（札幌市中央区北2条西1丁目1-1）

**オンライン参加** zoom **定員500名**

**参加  
無料**

- \*各参加とも定員になり次第締め切らせていただきます
- \*質疑応答は会場参加の方のみに限らせていただきます

## 講師

**城内 博 氏**

独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所  
化学物質情報管理研究センター長

**小野 真理子 氏**

独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所  
化学物質情報管理研究センター化学物質情報管理部特任研究員

## 申込方法

令和5年9月1日（金）午前9時から受付開始

※（公社）北海道労働基準協会連合会HP

<https://hokkiren.or.jp/> でご案内しています

## お問合せ先

■北海道労働局労働基準部健康課

電話 011-709-2311（内線 3563）

■（公社）北海道労働基準協会連合会

電話 011-747-6141

\*申し込みに関するお問い合わせは北海道労働基準協会連合会へお願いします

主催



厚生労働省北海道労働局（公社）北海道労働基準協会連合会

# 令和5年度DTP技能検定のご案内

厚生労働省の令和5年度技能検定プリプレス職種「DTP作業」が実施される。

DTP作業従事者の皆さんへの教育の一環として活用でき、スキルアップに繋がる。  
令和5年度後期に実施されるプリプレス職種「DTP作業」の主な内容は次のとおり。

記

受検申請受付	令和5年10月2日(月)～同13日(金)
実技試験日	令和6年1月中～同2月上旬
実技試験会場	北海道立札幌高等技術専門学院（札幌市東区北27条東16丁目） 北海道立旭川高等技術専門学院（旭川市緑が丘東3条2丁目） ※受検者数によって1会場になる場合がある。
学科試験日程	令和6年2月4日(日)
学科試験会場	札幌市・旭川市・函館市・滝川市・北見市・室蘭市・帯広市・釧路市の指定する会場
実技試験内容	DTPアプリケーションを使用し、提示された指定書により、支給された課題データを組版・編集し、カラープリンターにより出力する。
受検区分	1級および2級
受検手数料	実技18,200円（25歳未満の雇用保険被保険者は、9,000円減額になる）／学科3,100円
受検申請 問い合わせ先	北海道職業能力開発協会または各地方職業能力開発協会

## 北海道最低賃金のご案内

令和5年10月1日改正

北海道内で事業を営む全産業の使用者およびその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む）に適用される北海道最低賃金（地域別）が、次のとおり改正された。

最低賃金額

時間額 **960円**（令和5年10月1日改定）

- 最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金および時間外等割増賃金は算入されない。
- 最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがある。

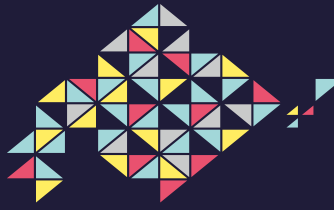
北海道印刷工業組合  
メールマガジン配信登録受付中

メールマガジンの配信希望は、北海道印刷工業組合のHPから申込受付を行っています。

[URL]

<https://www.print.or.jp>





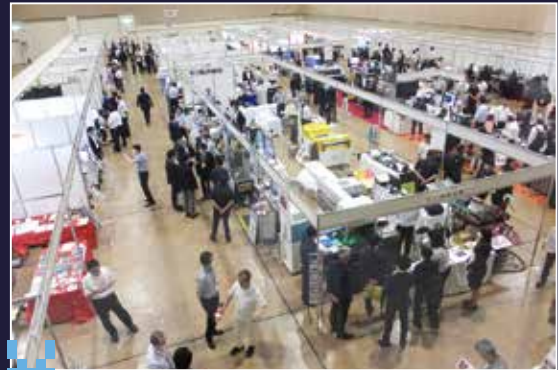
# HOPE 2023

HOKKAIDO PRINT EXPO

写真グラフ



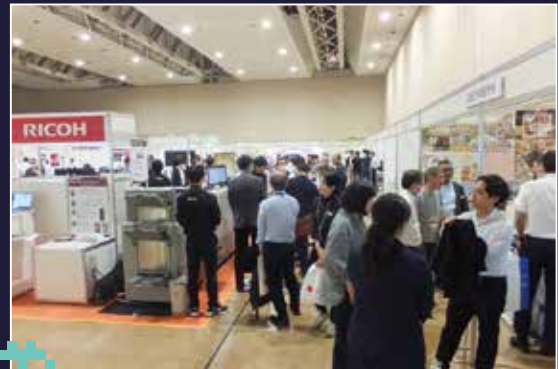
開会式テープカット



展示会場全景



盛況を博したテクニカルセミナー



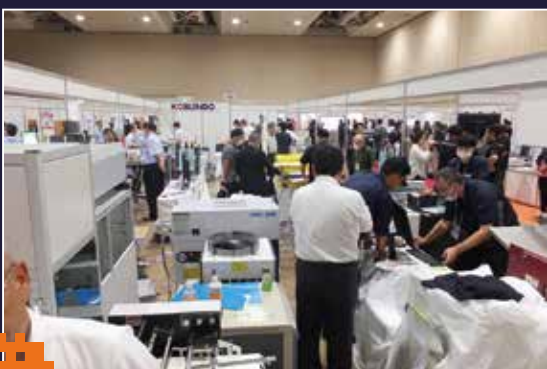
賑わった展示会



賑わった展示会



賑わった展示会



賑わった展示会



賑わった展示会